

組織キャンプの効果

森井利夫・渡辺武和

Effects of Organized Camp

Toshio Morii・Takekazu Watanabe

1 はじめに

組織キャンプに森井が少年時代の1949年以来、継続的にかかわって47年になる。参加者、指導者として、キャンプの教育的（ときに治療的）効果については、体験的に実感してきたし、参加者（ときに保護者等）の手記や、事後の観察によっても十分に証明できると考えてきた。

しかし、これまで効果を客観的に明らかにする実証研究が乏しいことも事実である。

1996年5月、森井の監修により刊行された『野外教育の理論と実際』の8章「冒険教育とキャンプ」で、林寿夫は「組織キャンプが人を育てるために有効な方法であるということは従来からいわれてきている。しかし、それが他の方法とどう異なるのか、それによって人が育つメカニズムはどう説明できるのかといった問題は、いまひとつ明確ではなかった。」（同書120頁）と述べている。

このような事情と、森井が老齢となり、キャンプに直接かかわる機会が減少したことのあせりとが本研究に着手した動機である。

文教大学入学以来、組織キャンプに魅了され、大学院修士論文のテーマにも「生涯学習社会における組織キャンプの意義」を選んだ渡辺と共同して調査を行い、組織キャンプの効果研究の手はじめにしようと考えたのである。

尚、本稿は、1996年11月9日、九州女子大学での第17回日本生涯教育学会、並びに同年12月13日、文教大学生生活科学研究所研究発表会において報告した内容をもとにしている。

2. 組織キャンプの現状と問題点

「キャンプ」という言葉は、多くのイメージを持っている。軍事基地のことを「キャンプ」と呼ぶし、プロ野球などのトレーニング合宿のことも「キャンプ」と呼ぶ。「野外で一時的な生活をする」という意味を「キャンプ」という言葉は表現している。産業革命以後、都市化、機械化が進展し、人々の生活環境が大きく変化し、新たな社会問題が次々と起こった。そのような状況の中で、人々は一時的に都市生活から離れ、大自然の中で素朴な生活を楽しむようになった。ここに近代キャンプが生まれたのである。現代では、余暇時間を楽しむことが流行し、キャンプは余暇の過ごし方の一つとして広く受け入れられるようになってきている。

「組織キャンプ」(Organized Camp) は、そのようなキャンプと比べ、より限定された要素を持つ一つの概念・方法として発展してきた。キャンプに教育的な意義を認め、実施するにあたり意図的、計画的な配慮をキャンプ全体に施すことが最大の特徴である。組織キャンプを構成する

最小限の要素として①自然環境、②指導者、③プログラムが挙げられる。キャンプを主催する団体があり、その団体の意図の下に、恵まれた自然環境の素材を用い、計画から実施、評価までの一連の流れに責任を持つディレクターや、キャンプに必要な知識と技術を養成された指導者が存在する。また、キャンプでの生活は、小集団を拠点とする、民主的な共同生活の媒体となる、よく準備・計画されたプログラムが必要である。

1861年、コネチカット州ワシントンにあったガナリースクールの校長であるフレデリック・ウィリアム・ガンが、全校生徒に2週間のキャンプ旅行を実施したのが組織キャンプの始まりである。その後、民間の青少年団体を中心に、組織キャンプが積極的に活用されていき、広く世界各地で実施されるようになった。わが国においても、1920年、大阪YMCAが六甲山東麓南郷山で天幕生活によるキャンプを行い、これが日本最初の組織キャンプといわれる。日本においても、民間の青少年団体により組織キャンプは積極的に用いられたが、訓練型のキャンプが主流となってしまい、本来の組織キャンプという概念・方法は、一般に十分理解されているとは言えないのが現実であろう。

組織キャンプの現状は、克服しなければならない問題が山積している。キャンプを単なる気晴らしや、レジャーと考える価値観、期間の短さ、体育偏重主義、サバイバルやスキーなど特定の活動の強調、指導者の質・量や適切なキャンプ場の不足など、早急に改善や解決が求められる課題は多い。

3. 組織キャンプの目的（期待される効果）

組織キャンプの目的は、主催団体や参加者の持つ属性によって、様々に表現されるが、その最大公約数は、パーソナリティのトータルな面での成長であり、全人的な成長発達を援助すること、つまり全人教育の営みにほかならない。

組織キャンプが、全人的な成長発達を目指すには、細部の目標を統合し、よりトータルな効果を図る必要がある。その具体的に期待される効果としては、第一に、好ましい習慣の形成、興味・関心の発見と助長、生活技術の修得、創造性の獲得など、主として、個人の資質に関する側面の変化である。第二に、新たな友人を発見し、友情を深める、公共性や責任感の育成、民主的共同社会の一員としての自覚と態度の育成など、主として、個人が社会に対応する際の態度や能力に関する側面の変化である。

前者を個性、後者を社会性と呼んでもよい。これらは、現代社会をよりよく生きる、すなわち自己を最高に生かしつつ、他者と共存し、望ましい社会の実現にも貢献できる人間としてのありようを意味する。個性と社会性のバランスの取れた発達こそが全人教育の理念そのものである。

これらの組織キャンプが持つ効果は、一般に“教育効果”と呼べるであろうが、このメカニズムは、参加者の持つ課題やプログラムの設定によって“療育”、“リハビリテーション”等の効果にも発展しうると考えられる。森井は、1961年、精神障害者（主として分裂病者）に対する治療キャンプを日本で初めて実施することに携わった。現在、障害を持つ人や高齢者などを対象とした組織キャンプが全国で多く実施されるようになってきている。

4. 効果の検証（今回の調査研究について）

今回の調査は、組織キャンプが期待される効果を満たすことができるのかという視点に立ち、組織キャンプの効果を具体的に設定し、どのような点において期待され、満足されているのかを

明らかにすることを目標とした。組織キャンプの目指す全人的な成長発達として、具体的に期待される効果を、次のような個性化に関する13項目、社会化に関する11項目の合計24項目掲げた。

- 個性化 ー 「自然への興味関心」、「新しい友人の発見」、
「自分の長所短所を知る」、「新しい興味関心の発見」、
「基本的な生活習慣」、「体力を鍛える」、
「野外生活・野外活動の技術」、「個性を発見し伸ばす」、
「余暇に対する積極的な態度」、「安全に気を配る態度」、
「何ごととも自ら進んでやる習慣」、「工夫・創造性」、
「スポーツへの関心や能力が高まる」
- 社会化 ー 「自分と違った個性・能力を持つ友人と共同・共存する態度」、
「公平・平等の考え方や態度」、「異年齢の仲間との交流」、
「集団のルール・規律を守る態度」、「責任感、公共心」、
「役割を分担しながら、責任を持って行動する態度」、
「苦しいこと、辛いことに耐える力」、「リーダーシップ」、
「人の意見をよく聞き、尊重する態度」、
「人のために役立つ（ボランティア、奉仕など）態度や能力」

調査対象は、1996年夏に実施された2つの組織キャンプとし、質問紙による調査方法を用い調査を実施した。

A キャンプ

1932年以来、今回61回目の開催。東京YMCA主催。

参加者は、中高校生男子のみを対象とし、約60名。

指導者は、社会人・大学生23名。

期間は、8月8日～23日（14泊15日）。

調査対象は、キャンプの参加者とその保護者。

B キャンプ

1983年以来、今回13回目の開催。市川市学童保育連絡協議会主催。

参加者は、小中学生男女を対象とし、約90名。

指導者は、社会人を含め37名。

期間は、8月18日～23日（5泊6日）

（低学年は、8月19日から4泊5日）

調査対象は、参加者の大多数が小学生のため保護者のみを対象。

各キャンプともキャンプ実施前に「キャンプへの期待」調査を、キャンプ終了1か月後「キャンプの満足度」調査を実施した。

本調査の仮設として、

- ①組織キャンプの参加者やその保護者は、キャンプに対して何らかの期待を持って参加する（させる）と思われる。
- ②キャンプ実施前は、多数の項目について高い期待が示されるであろう。
- ③キャンプ終了後は、ある項目では高い満足度が現れると思われるが、反面、期待外れであ

る項目も現れるのではないかと予想した。本調査では、各キャンプとも、参加者およびその保護者は、特定の項目だけでなく全項目において高い期待度を示している。(表1, 3, 5)

の3点を挙げた。本調査では、キャンプ実施前後とを比較し、どの項目においてどの様な変化が見られるのかについて明らかにしていく。

5. 調査結果のまとめ

1. 仮説①、② キャンプにに対する期待について、参加者およびその保護者は何らかの期待を持ってキャンプへ参加する(させる)のではないかと予想をした。本調査では、各キャンプとも、参加者およびその保護者は、特定の項目だけでなく全項目において高い期待度を示している。(表1, 3, 5)
2. 仮説③ キャンプに対する満足について、参加者およびその保護者はある項目では高い満足度が現れると思われるが、反面、期待外れである項目も現れるのではないかと予想した。本調査では、各キャンプとも、参加者およびその保護者は、高い満足度を示している。予想に反して、期待外れと感じている項目は見当たらない。全項目において満足度は高いが、期態度と比較して保護者は「どちらとも言えない」と回答した者が多い。(表2, 4, 6)
3. 各キャンプにおいて、期待と満足と比較したとき表2, 4, 6の右端**, *印のある項目は特に有意の差が見られるものである。特に保護者においてその差が大きい。その理由として、効果が即時的具体的に観察することが困難であるからと考えられる。Aキャンプ参加者については、期待と満足にはほとんど差が見られない。1項目のみ若干の差が見られる。参加者は期待どおりにキャンプ生活を過ごし、満足を得たと考えられる。
4. Aキャンプにおいて、参加者とその保護者を比較した。「キャンプへの期待」は、表7に見られるように10項目で保護者の方が参加者より期待が高いことがわかる。キャンプ終了後の「満足度」は、表7に見られるように6項目で参加者の方が満足度が高いことがわかる。保護者はキャンプに対する期待が高く、参加者は保護者に比べ期待は高くない。しかし、参加者は直接キャンプ生活を経験しているために、保護者より高い満足度を示していると考えられる。
5. 各キャンプの保護者に着目した時、同じような期態度、満足度を示している。保護者は満足度において「どちらとも言えない」と回答する者が多い。これは24項目の細部に関する効果については観察することが難しいためと考えられる。しかし、表1, 2のように保護者は総体としてキャンプの効果をかなり高く評価している。

調査の結果は、おおむね以上の5つのポイントにまとめられるが、若干の補足をしておきたい。A, B, 2つのキャンプは、対象年齢、期間、歴史的・地域的背景など大きな相違があるので、この2つのキャンプを比較することにはそれほど意味がないと考える。組織キャンプのモデルとしてたまたま見近なこの2つをとりあげたにすぎない。しかし、両キャンプには共通点も多い。Bキャンプの期間が5日間と、Aキャンプの15日間に比較すると大きな差があるが、他のこの種のキャンプのほとんどが1, 2泊であることを考えれば長期間といえるし、さらにグループの生活を中心とした相互作用を重視し、興味関心にもとづく柔軟で余裕のあるプログラムを組んでいるなど、理念としてはAキャンプの流れを汲むものといえる。

調査結果の数字から、事前の期待はいずれも全般にわたっているが、経験したうでの満足は、それぞれの特色が見てとれ、Aキャンプにおける保護者と参加者の微妙なずれなども興味深く、組織キャンプの効果を示す資料として十分生かし得るものと考ええる。

表1 Aキャンプ 保護者

キャンプ前の期待度

	とても期待している	多少期待している	どちらとも言えない	あまり期待していない	まったく期待していない	S D	MEAN
自然への興味関心を深める	21(47.7)	16(36.4)	7(15.9)	0(0.0)	0(0.0)	0.740	4.318
新しい友人を発見する	28(63.6)	14(31.8)	2(4.5)	0(0.0)	0(0.0)	0.583	4.591
自分の長所・短所を知る	23(52.3)	11(25.0)	9(20.5)	1(2.3)	0(0.0)	0.872	4.273
新しい興味関心を見つける	29(65.9)	12(27.3)	3(6.8)	0(0.0)	0(0.0)	0.622	4.591
基本的な生活習慣を身に付ける	25(56.8)	12(27.3)	5(11.4)	2(4.5)	0(0.0)	0.865	4.364
体力を養う	20(45.5)	15(34.1)	6(13.6)	3(6.8)	0(0.0)	0.922	4.182
野外生活・野外活動の技術を身に付ける	14(31.8)	22(50.0)	6(13.6)	2(4.5)	0(0.0)	0.802	4.091
何事も自ら積極的に進んでやる習慣を身に付ける	25(58.1)	14(32.6)	4(9.3)	0(0.0)	0(0.0)	0.668	4.488
スポーツへの関心や能力を養う	15(34.1)	18(40.9)	9(20.5)	2(4.5)	0(0.0)	0.861	4.045
工夫・創造性を養う	18(41.9)	19(44.2)	5(11.6)	1(2.3)	0(0.0)	0.756	4.256
個性を発見し伸ばす	20(47.6)	17(40.5)	5(11.9)	0(0.0)	0(0.0)	0.692	4.357
余暇に対する積極的な態度を養う	17(38.6)	19(43.2)	7(15.9)	1(2.3)	0(0.0)	0.786	4.182
安全に気を配る習慣を身に付ける	26(59.1)	15(34.1)	3(6.8)	0(0.0)	0(0.0)	0.628	4.523
自分と違った個性・能力を持つ友人と共同・共存する能力を養う	36(81.8)	6(13.6)	2(4.5)	0(0.0)	0(0.0)	0.522	4.773
公平・平等の考え方や態度を養う	24(54.5)	12(27.3)	8(18.2)	0(0.0)	0(0.0)	0.780	4.364
集団生活のルール・規律を守る態度を養う	29(65.9)	11(25.0)	4(9.1)	0(0.0)	0(0.0)	0.661	4.568
役割分担をしながら、責任を持って行動する態度を養う	33(75.0)	10(22.7)	1(2.3)	0(0.0)	0(0.0)	0.499	4.727
異年齢の仲間との交流を深める	30(68.2)	11(25.0)	3(6.8)	0(0.0)	0(0.0)	0.618	4.614
苦しいこと、つらいことに耐える力を養う	23(52.3)	15(34.1)	5(11.4)	1(2.3)	0(0.0)	0.780	4.364
リーダーシップを身に付ける	18(41.9)	12(27.9)	10(23.3)	3(7.0)	0(0.0)	0.975	4.047
責任感、公共心を養う	29(67.4)	10(23.3)	4(9.3)	0(0.0)	0(0.0)	0.663	4.581
チームワークの態度や能力を身に付ける	30(71.4)	11(26.2)	1(2.4)	0(0.0)	0(0.0)	0.517	4.690
人の意見をよく聞き、尊重する態度を身に付ける	31(72.1)	10(23.3)	2(4.5)	0(0.0)	0(0.0)	0.566	4.674
人のために役立つ（ボランティア、奉仕など）態度や能力を身に付ける	26(60.5)	13(30.2)	4(9.3)	0(0.0)	0(0.0)	0.668	4.512

表2 Aキャンプ 保護者

キャンプ後の満足度

* P < 0.05
** P < 0.01

	とても満足している	多少満足している	どちらとも言えない	あまり満足していない	まったく満足していない	SD	MEAN	
自然への興味関心が深まった	5(12.2)	24(58.5)	12(29.3)	0(0.0)	0(0.0)	0.629	3.829	**
新しい友人を発見できた	22(53.7)	12(29.3)	6(14.6)	1(2.4)	0(0.0)	0.825	4.341	
自分の長所・短所を知ることができた	6(14.6)	16(39.0)	19(46.3)	0(0.0)	0(0.0)	0.722	3.683	**
新しい興味関心を見つめることができた	19(46.3)	12(29.3)	9(22.0)	1(2.4)	0(0.0)	0.872	4.195	
基本的な生活習慣が身に付いた	5(12.2)	17(41.5)	18(43.9)	0(0.0)	1(2.4)	0.802	3.610	**
体力を鍛えることができた	15(36.6)	18(43.9)	6(14.6)	0(0.0)	2(4.9)	0.985	4.073	
野外生活・野外活動の技術が身に付いた	7(17.1)	22(53.7)	10(24.4)	1(2.4)	1(2.4)	0.843	3.805	
何事も自ら積極的に進んでやる習慣が身に付いた	5(12.2)	18(43.9)	18(43.9)	0(0.0)	0(0.0)	0.687	3.683	**
スポーツへの関心や能力が高まった	10(24.4)	19(46.3)	11(26.8)	1(2.4)	0(0.0)	0.787	3.927	
工夫・創造性が身に付いた	4(9.8)	13(31.7)	23(56.1)	1(2.4)	0(0.0)	0.711	3.488	**
個性を発見し伸ばすことができた	7(17.1)	14(34.1)	19(46.3)	1(2.4)	0(0.0)	0.794	3.659	**
余暇に対する積極的な態度が高まった	3(7.3)	17(41.5)	20(48.8)	1(2.4)	0(0.0)	0.674	3.537	**
安全に気を配る習慣が身に付いた	2(4.9)	16(39.0)	22(53.7)	1(2.4)	0(0.0)	0.636	3.463	**
自分と違った個性・能力を持つ友人と共同・共存する能力が身に付いた	11(27.5)	16(40.0)	12(30.0)	1(2.5)	0(0.0)	0.829	3.925	**
公平・平等の考え方や態度が身に付いた	6(15.0)	20(50.0)	13(32.5)	1(2.5)	0(0.0)	0.733	3.775	**
集団生活のルール・規律を守る態度が身に付いた	11(26.8)	17(41.5)	12(29.3)	1(2.4)	0(0.0)	0.818	3.927	**
役割分担をしながら、責任を持って行動する態度が身に付いた	8(19.5)	20(48.8)	13(31.7)	0(0.0)	0(0.0)	0.714	3.878	**
異年齢の仲間との交流が深まった	18(43.9)	11(26.8)	12(29.3)	0(0.0)	0(0.0)	0.853	4.146	*
苦しいこと、つらいことに耐える力が身に付いた	9(22.5)	11(27.5)	20(50.0)	0(0.0)	0(0.0)	0.816	3.725	**
リーダーシップが身に付いた	3(7.5)	13(32.5)	23(57.5)	1(2.4)	0(0.0)	0.677	3.450	**
責任感、公共心が身に付いた	5(12.5)	18(45.0)	17(42.5)	0(0.0)	0(0.0)	0.687	3.700	**
チームワークの態度や能力が身に付いた	7(17.5)	20(50.0)	13(32.5)	0(0.0)	0(0.0)	0.700	3.850	**
人の意見をよく聞き、尊重する態度が身に付いた	6(14.6)	20(48.8)	14(34.1)	1(2.4)	0(0.0)	0.734	3.756	**
人のために役立つ(ボランティア、奉仕など)態度や能力が身に付いた	3(7.3)	17(41.5)	20(48.8)	1(2.4)	0(0.0)	0.674	3.537	**

表3 Aキャンプ 参加者

キャンプ前の期待度

	とても期待している	多少期待している	どちらとも言えない	あまり期待していない	まったく期待していない	S D	MEAN
自然への興味関心を深める	8(19.5)	23(56.1)	6(14.6)	3(7.3)	1(2.4)	0.919	3.829
新しい友人を発見する	28(68.3)	11(26.8)	1(2.4)	0(0.0)	1(2.4)	0.774	4.585
自分の長所・短所を知る	9(22.0)	16(39.0)	12(29.3)	2(4.9)	2(4.9)	1.035	3.683
新しい興味関心を見つける	14(34.1)	18(43.9)	4(9.8)	4(9.8)	1(2.4)	1.037	3.976
基本的な生活習慣を身に付ける	11(26.8)	18(43.9)	6(14.6)	3(7.3)	3(7.3)	1.157	3.756
体力を養う	17(42.5)	16(40.0)	3(7.5)	4(10.0)	0(0.0)	0.949	4.150
野外生活・野外活動の技術を身に付ける	19(46.3)	11(26.8)	9(22.0)	1(2.4)	1(2.4)	1.005	4.122
何事も自ら積極的に進んでやる習慣を身に付ける	11(27.5)	20(50.0)	5(12.5)	2(5.0)	2(5.0)	1.033	3.900
スポーツへの関心や能力を養う	21(51.2)	16(39.0)	4(9.8)	0(0.0)	0(0.0)	0.670	4.415
工夫・創造性を養う	22(53.7)	11(26.8)	6(14.6)	1(2.4)	1(2.4)	0.975	4.268
個性を発見し伸ばす	17(42.5)	13(32.5)	8(20.0)	1(2.5)	1(2.5)	0.982	4.100
余暇に対する積極的な態度を養う	12(29.3)	15(36.6)	9(22.0)	4(9.8)	1(2.4)	1.054	3.805
安全に気を配る習慣を身に付ける	12(29.3)	16(39.0)	9(22.0)	3(7.3)	1(2.4)	1.014	3.854
自分と違った個性・能力を持つ友人と共同・共存する能力を養う	18(43.9)	18(43.9)	3(7.3)	1(2.4)	1(2.4)	0.888	4.244
公平・平等の考え方や態度を養う	12(29.3)	19(46.3)	9(22.0)	0(0.0)	1(2.4)	0.866	4.000
集団生活のルール・規律を守る態度を養う	16(39.0)	18(43.9)	4(9.8)	2(4.9)	1(2.4)	0.954	4.122
役割分担をしながら、責任を持って行動する態度を養う	14(34.1)	21(51.2)	5(12.2)	0(0.0)	1(2.4)	0.823	4.146
異年齢の仲間との交流を深める	19(46.3)	16(39.0)	4(9.8)	1(2.4)	1(2.4)	0.916	4.244
苦しいこと、つらいことに耐える力を養う	15(36.6)	16(39.0)	9(22.0)	0(0.0)	1(2.4)	0.905	4.073
リーダーシップを身に付ける	9(22.0)	17(41.5)	10(24.4)	2(4.9)	3(7.3)	1.109	3.659
責任感、公共心を養う	16(39.0)	16(39.0)	7(17.1)	1(2.4)	1(2.4)	0.944	4.098
チームワークの態度や能力を身に付ける	19(46.3)	12(29.3)	9(22.0)	0(0.0)	1(2.4)	0.946	4.171
人の意見をよく聞き、尊重する態度を身に付ける	16(39.0)	17(41.5)	6(14.6)	0(0.0)	2(4.9)	0.995	4.098
人のために役立つ（ボランティア、奉仕など）態度や能力を身に付ける	14(34.1)	16(39.0)	8(19.5)	2(4.9)	1(2.4)	0.987	3.976

表4 Aキャンプ 参加者

キャンプ後の満足度

* P < 0.05
** P < 0.01

	とても満足している	多少満足している	どちらとも言えない	あまり満足していない	まったく満足していない	SD	MEAN
自然への興味関心が深まった	15(34.4)	20(45.5)	9(20.5)	0(0.0)	0(0.0)	0.734	4.136
新しい友人を発見できた	29(65.9)	12(27.3)	3(6.8)	0(0.0)	0(0.0)	0.622	4.591
自分の長所・短所を知ることができた	11(25.0)	20(45.5)	12(27.3)	1(2.3)	0(0.0)	0.789	3.932
新しい興味関心を見つめることができた	17(38.6)	21(47.7)	5(11.4)	1(2.3)	0(0.0)	0.743	4.227
基本的な生活習慣が身に付いた	13(29.5)	19(43.2)	11(25.0)	1(2.3)	0(0.0)	0.807	4.000
体力を鍛えることができた	21(48.8)	16(37.2)	6(14.0)	0(0.0)	0(0.0)	0.720	4.349
野外生活・野外活動の技術が身に付いた	22(50.0)	10(22.7)	11(25.0)	1(2.3)	0(0.0)	0.904	4.205
何事も自ら積極的に進んでやる習慣が身に付いた	9(20.5)	26(59.1)	8(18.2)	1(2.3)	0(0.0)	0.698	3.977
スポーツへの関心や能力が高まった	19(43.2)	20(45.5)	5(11.4)	0(0.0)	0(0.0)	0.674	4.318
工夫・創造性が身に付いた	10(23.3)	22(51.2)	10(23.3)	1(2.3)	0(0.0)	0.754	3.953
個性を発見し伸ばすことができた	13(29.5)	20(45.5)	10(22.7)	1(2.3)	0(0.0)	0.792	4.023
余暇に対する積極的な態度が高まった	10(22.7)	21(47.7)	13(29.5)	0(0.0)	0(0.0)	0.728	3.932
安全に気を配る習慣が身に付いた	16(36.4)	16(36.4)	12(27.3)	0(0.0)	0(0.0)	0.802	4.091
自分と違った個性・能力を持つ友人と共同・共存する能力が身に付いた	17(38.6)	16(36.4)	10(22.7)	1(2.3)	0(0.0)	0.841	4.114
公平・平等の考え方や態度が身に付いた	12(27.9)	21(48.8)	10(23.3)	0(0.0)	0(0.0)	0.722	4.047
集団生活のルール・規律を守る態度が身に付いた	14(31.8)	20(45.5)	9(20.5)	1(2.3)	0(0.0)	0.789	4.068
役割分担をしながら、責任を持って行動する態度が身に付いた	10(22.7)	22(50.0)	11(25.0)	1(2.3)	0(0.0)	0.759	3.932
異年齢の仲間との交流が深まった	29(67.4)	13(30.2)	1(2.3)	0(0.0)	0(0.0)	0.529	4.651
苦しいこと、つらいことに耐える力が身に付いた	21(47.7)	16(36.4)	6(13.6)	1(2.3)	0(0.0)	0.795	4.295
リーダーシップが身に付いた	9(20.5)	20(45.5)	13(29.5)	2(4.5)	0(0.0)	0.815	3.818
責任感、公共心が身に付いた	14(31.8)	19(43.2)	9(20.5)	1(2.3)	1(2.3)	0.915	4.000
チームワークの態度や能力が身に付いた	16(36.4)	16(36.4)	9(20.5)	1(2.3)	2(4.5)	1.045	3.977
人の意見をよく聞き、尊重する態度が身に付いた	11(25.0)	21(47.7)	12(27.3)	0(0.0)	0(0.0)	0.731	3.977
人のために役立つ(ボランティア、奉仕など) 態度や能力が身に付いた	12(27.3)	23(52.3)	8(18.2)	1(2.3)	0(0.0)	0.746	4.045

*

表5 Bキャンプ 保護者

キャンプ前の期待度

	とても期待している	多少期待している	どちらとも言えない	あまり期待していない	まったく期待していない	S D	MEAN
自然への興味関心を深める	35(46.1)	34(44.7)	7(9.2)	0(0.0)	0(0.0)	0.650	4.368
新しい友人を発見する	40(52.6)	33(43.4)	3(3.9)	0(0.0)	0(0.0)	0.577	4.487
自分の長所・短所を知る	17(22.4)	39(51.3)	14(18.4)	6(7.9)	0(0.0)	0.848	3.882
新しい興味関心を見つける	26(34.2)	45(59.2)	4(5.3)	1(1.3)	0(0.0)	0.619	4.263
基本的な生活習慣を身に付ける	18(23.7)	39(51.3)	14(18.4)	4(5.3)	1(1.3)	0.867	3.908
体力を養う	11(14.5)	45(59.2)	13(17.1)	7(9.2)	0(0.0)	0.805	3.789
野外生活・野外活動の技術を身に付ける	27(36.0)	39(52.0)	8(10.7)	1(1.3)	0(0.0)	0.689	4.227
何事も自ら積極的に進んでやる習慣を身に付ける	46(60.5)	26(34.2)	4(5.3)	0(0.0)	0(0.0)	0.598	4.553
スポーツへの関心や能力を養う	12(16.0)	27(36.0)	26(34.7)	10(13.3)	0(0.0)	0.920	3.547
工夫・創造性を養う	30(40.0)	40(53.3)	5(6.7)	0(0.0)	0(0.0)	0.600	4.333
個性を発見し伸ばす	21(27.6)	32(42.1)	20(26.3)	3(3.9)	0(0.0)	0.838	3.934
余暇に対する積極的な態度を養う	23(30.3)	32(42.1)	17(22.4)	4(5.3)	0(0.0)	0.869	3.974
安全に気を配る習慣を身に付ける	23(30.3)	47(61.8)	6(7.9)	0(0.0)	0(0.0)	0.580	4.224
自分と違った個性・能力を持つ友人と共同・共存する能力を養う	46(60.5)	25(32.9)	4(5.3)	1(1.3)	0(0.0)	0.663	4.526
公平・平等の考え方や態度を養う	32(42.1)	31(41.3)	11(14.7)	1(1.3)	0(0.0)	0.755	4.253
集団生活のルール・規律を守る態度を養う	35(46.1)	34(44.7)	6(7.9)	1(1.3)	0(0.0)	0.687	4.355
役割分担をしながら、責任を持って行動する態度を養う	41(54.7)	32(42.7)	2(2.7)	0(0.0)	0(0.0)	0.554	4.520
異年齢の仲間との交流を深める	37(48.7)	32(42.1)	5(6.6)	2(2.6)	0(0.0)	0.727	4.368
苦しいこと、つらいことに耐える力を養う	32(42.1)	35(46.1)	6(7.9)	3(3.9)	0(0.0)	0.772	4.263
リーダーシップを身に付ける	13(17.1)	38(50.0)	19(25.0)	6(7.9)	0(0.0)	0.831	3.763
責任感、公共心を養う	30(40.0)	38(50.7)	5(6.7)	2(2.6)	0(0.0)	0.708	4.280
チームワークの態度や能力を身に付ける	43(56.6)	30(39.5)	3(3.9)	0(0.0)	0(0.0)	0.577	4.526
人の意見をよく聞き、尊重する態度を身に付ける	40(52.6)	33(43.4)	3(3.9)	0(0.0)	0(0.0)	0.577	4.487
人のために役立つ（ボランティア、奉仕など）態度や能力を身に付ける	34(44.7)	32(42.1)	8(10.5)	2(2.6)	0(0.0)	0.763	4.289

表6 Bキャンプ 保護者

キャンプ後の満足度

* P < 0.05
** P < 0.01

	とても満足している	多少満足している	どちらとも言えない	あまり満足していない	まったく満足していない	SD	MEAN	
自然への興味関心が深まった	16(27.6)	20(34.5)	22(37.9)	0(0.0)	0(0.0)	0.810	3.897	**
新しい友人を発見できた	22(38.6)	28(49.1)	7(12.3)	0(0.0)	0(0.0)	0.669	4.263	
自分の長所・短所を知ることができた	10(18.2)	17(30.9)	28(50.9)	0(0.0)	0(0.0)	0.771	3.673	**
新しい興味関心を見つめることができた	12(21.8)	22(40.0)	21(38.2)	0(0.0)	0(0.0)	0.764	3.836	**
基本的な生活習慣が身に付いた	7(12.3)	21(36.8)	28(49.1)	1(1.8)	0(0.0)	0.728	3.596	**
体力を鍛えることができた	15(26.3)	25(43.9)	16(28.1)	1(1.8)	0(0.0)	0.789	3.947	*
野外生活・野外活動の技術が身に付いた	15(26.3)	23(40.4)	18(31.6)	1(1.8)	0(0.0)	0.808	3.912	*
何事も自ら積極的に進んでやる習慣が身に付いた	8(14.0)	24(42.1)	23(40.4)	2(3.5)	0(0.0)	0.764	3.667	**
スポーツへの関心や能力が高まった	7(12.3)	18(31.6)	32(56.1)	0(0.0)	0(0.0)	0.708	3.561	**
工夫・創造性が身に付いた	5(8.8)	23(40.4)	29(50.9)	0(0.0)	0(0.0)	0.653	3.579	**
個性を発見し伸ばすことができた	6(10.7)	21(37.5)	29(51.8)	0(0.0)	0(0.0)	0.682	3.589	**
余暇に対する積極的な態度が高まった	7(12.3)	22(38.6)	27(47.4)	1(1.8)	0(0.0)	0.726	3.614	**
安全に気を配る習慣が身に付いた	2(3.5)	28(49.1)	27(47.4)	0(0.0)	0(0.0)	0.567	3.561	**
自分と違った個性・能力を持つ友人と共同・共存する能力が身に付いた	14(24.6)	30(52.6)	13(22.8)	0(0.0)	0(0.0)	0.694	4.018	**
公平・平等の考え方や態度が身に付いた	3(5.3)	28(49.1)	25(43.9)	1(1.8)	0(0.0)	0.625	3.579	**
集団生活のルール・規律を守る態度が身に付いた	9(15.8)	33(57.9)	15(26.3)	0(0.0)	0(0.0)	0.646	3.895	**
役割分担をしながら、責任を持って行動する態度が身に付いた	9(15.8)	32(56.1)	16(28.1)	0(0.0)	0(0.0)	0.657	3.877	**
異年齢の仲間との交流が深まった	12(21.1)	27(47.4)	18(31.6)	0(0.0)	0(0.0)	0.724	3.895	**
苦しいこと、つらいことに耐える力が身に付いた	9(15.8)	23(40.4)	25(43.9)	0(0.0)	0(0.0)	0.726	3.719	**
リーダーシップが身に付いた	4(7.0)	25(43.9)	25(43.9)	3(5.3)	0(0.0)	0.710	3.526	
責任感、公共心が身に付いた	5(8.8)	28(49.1)	24(42.1)	0(0.0)	0(0.0)	0.636	3.667	**
チームワークの態度や能力が身に付いた	8(14.0)	33(57.9)	16(28.1)	0(0.0)	0(0.0)	0.639	3.860	**
人の意見をよく聞き、尊重する態度が身に付いた	7(12.5)	24(42.9)	24(42.9)	1(1.8)	0(0.0)	0.721	3.661	**
人のために役立つ(ボランティア、奉仕など) 態度や能力が身に付いた	5(8.8)	19(33.3)	32(56.1)	1(1.8)	0(0.0)	0.685	3.491	*

表7 Aキャンプ

保護者と参加者の期待度と満足度の差

* P < 0.05
** P < 0.01

	期 待 度	満 足 度
自然への興味関心	*	
新しい友人を発見する		
自分の長所・短所を知ること	*	
新しい興味関心を見つけること	*	
基本的な生活習慣	*	
体力を鍛えること		
野外生活・野外活動の技術		*
何事も自ら積極的に進んでやる習慣	*	
スポーツへの関心や能力		
工夫・創造性		*
個性を発見し伸ばすこと		
余暇に対する積極的な態度		
安全に気を配る習慣	*	**
自分と違った個性・能力を持つ友人と共同・共存する能力	**	
公平・平等の考え方や態度		
集団生活のルール・規律を守る態度		
役割分担をしながら、責任を持って行動する態度	**	
異年齢の仲間との交流		**
苦しいこと、つらいことに耐える力		**
リーダーシップ		
責任感、公共心		
チームワークの態度や能力	*	
人の意見をよく聞き、尊重する態度	*	
人のために役立つ（ボランティア、奉仕など）態度や能力		*

6. 保護者の自由記述より

保護者へのアンケートでは、自由記述の欄も設け、大半の回答者が何らかの意見、感想等を記入した。

ここで紙面の許す範囲で紹介する。数量化された結果により、具体的に生々しい成果が表されていると考えられるからである。（ ）内はキャンプの種別、参加者の学齢を示す。

- 年齢が下の不慣れな仲間のことのいろいろ気になったようで、集団の中の自分の位置、果たすべき役割について考えたようです。家庭内のことにも協力的になり、妹が無責任でいい加減な態度を取ると強くとしなめるようになりました。また、以前より明るく楽天的になり、精神的にたくましくなったように思います。（Aキャンプ 中2）

- 生活の中でよく歌を口ずさむようになった。高校生と遊び、彼らの性格を楽しそうに語っている。遠泳で湖を泳ぎ切ったこと―自信につながった感じがしている。リーダーを含め、スタッフ、高校生と本当に多く名前とその人の性格を知っていること驚きです。(Aキャンプ 中1)
- 精神的に落ちついて、ただ自分が、学んだり楽しんだりしたというより、仲間たちと共に後輩たちを気遣ったことなどが、あまり多くを語らない中に伝わってきました。(Aキャンプ 高2)
- 特別に大きな変化は見取れる訳ではありません。しかし、今までにない体験をとて大きな喜びと感じ帰ってきました。特に、リーダーという人達を全ての面で「すごいよ」という言葉で表現し、素直にその偉大さを認め、そして、興味を抱いたようです。来年も「絶対に行きたい」と言っております。(Aキャンプ 中1)
- 帰宅した日、明らかに一回り成長した気がしました。日頃は、学校の様子など話したことのない息子が、生き生きとキャンプの様子を話してくれ、我が息子がこんなに雄弁だったかしらと一瞬耳を疑いました。(Aキャンプ 高1)
- 何もすることがない時、以前は私にすぐくっついてきたものですが、何かやることを見つけて遊ぶようになりました。自分なりにすることを見つけられるようになったなと思っています。(Bキャンプ 小3)
- 自分の行動を言葉行動で明確に表現できるようになりました。キャンプでの姿を遠くから見てみたかったです。子どもは親が思っているほど、子どもではなく1歩も2歩も成長していることを痛感しました。(Bキャンプ 小2)

6. おわりに

表に多くのスペースを割いたため、数字に表された結果の分析が不十分であることは重々自覚している。

学会の際フロアから指摘されたことだが、各項目にあげられたような内容の効果は、キャンプの目的やプログラムによって変化するもので、普遍性をもちえないのではないかという疑問がのこる。

しかし、前にも述べたように、われわれはキャンプを、全人的な人間の成長を目指すものとして、個々のプログラム(行事など)が、特定の効果と結びつくものではない、と考えている。たとえば“自然観察”というプログラム(行事)を行なったから“自然への関心が深まった”のではなく、キャンプ全体を貫く思想(価値観)と、トータルな意味でのプログラム(生活様式)が効果を決定すると考える。その見地から今後さらに研究をすすめていきたい。

参考文献

- 森井利夫編『現代のエスプリ』(334号) 至文堂 1995年
 森井利夫編『野外教育の理論と実際 ―組織キャンプ入門―』学文社 1996年